



# さとやま

## 4月の里といきもの

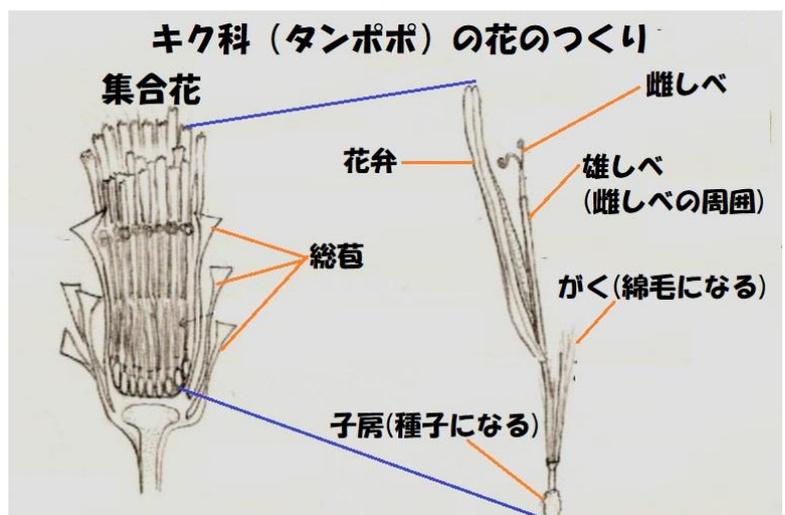


今年の3月は、後半気温の高い日が多く、サクラの開花も平年より早まりました。4月、里でも続々と春の花が咲き揃い、1年で一番美しい季節になります。足元には様々な黄色い花が咲きます。その中でもタンポポに代表される、キク科に分類される花が色々見られます。

### タンポポ

一番多く見られる黄色い花です。日当たりのよい場所を好み、地下に50cm以上にもなる長いゴボウのような根を持ちます。また、生長点が地表近くにあり、ロゼット型の葉を広げているため、定期的に草刈りされる場所でもダメージが少なく、よく群生します。

キク科の花は、いくつかの小さな花が集まって、1つの花のように見える集合花です。がくのように見えるものは、総苞という葉が変化したものです。1つ1つの花のがくは退化し、タンポポでは細かい毛の集まりになり、将来種子を飛ばす綿毛になります



タンポポというのは、キク科タンポポ属の総称で、大きく分けて、日本古来の在来種と、外国から帰化した外来種があります

## 在来種

総苞が上向きなことで見分けられます。適度に湿った良質な土壌を好み、花は春にしか咲きません。夏にはほとんど葉を落とし、秋頃にまた葉を出して成長します。近くに背の高い植物ある場合、夏はその葉陰になるため、効率よく生きるため日本の風土に合った戦略です。

中央広場付近では**シロバナタンポポ**と呼ばれる花弁が白い種類もあります。



## 外来種

総苞が反り返っていることで見分けられます。荒地や道路、住宅地のようなあまり草花が生えない乾いた土壌を好みます。1年中成長を続け3~10月に繰り返し花をつけます。

このような違いによって、外来種の方が繁殖力が強く、人目に付きやすいため、在来種は数を減らしているように見えます。しかし、里のような緑の豊かな場所では、在来種もたくさん見つけられます。

こんなタンポポと間違えそうな花もあります。



## オオジシバリ



一見タンポポのように見えますが、花茎が枝分かれして集合花が2・3個付くこと、1つの集合花の花数が少ないことで見分けることができます。

草丈が低い**ジシバリ**もあります。畑や土手などに生い茂っている様子が、地面を縛っているように見えることから名がつけました。

## ブタナ

長円寺付近で見られる、ヨーロッパ原産の外来種です。30~60 cmの長い花茎が途中で分かれて集合花をつけます。

原産地では食用とされているそうです。



その他にも、こんなタンポポに似た花があります。

				
ノゲシ	オニノゲシ	ニガナ	オニタビラコ	コオニタビラコ
葉が柔らかい	葉が固い	多数の集合花	集合花が集まる	集合花が小さい

ノゲシ・オニノゲシ・ニガナ・オニタビラコは、長い花茎の先に集合花が複数つきます。

#### 4月はこんな生きものも見られます

センターのテラス前のどんぐりの木**アベマキ**は、幾筋も垂れ下がる花で、遠くから見ても薄い緑色に煙ったように見えます。里のスミレの種類も増えて、藤棚奥の柿畑には小さな**ツボスミレ**の白い花が咲きます。坪（つぼ）とは庭のことで、どこにでも見られることから名が付けました。ハンノキ広場〜トンボの里では、匍匐茎が垣根を抜けていくことから名がついた**カキドオシ**の花がところどころで見られます。



ショウジョウバカマの小径やトンボの里では、**ヤマネコノメソウ**の種子が実り、猫の目のように見えます。万灯山に向かう道の足元には、**ムラサキケマン**の花が群生します。ときには白花のものも見つかります。山頂付近の道沿いには**コバノガマズミ**の白い花が見られます。



山頂では、**フデリンドウ**の花が「妖精の足跡」と表現されるように点々と咲き、変わった形の**ヒメハギ**の花を見つけることができます。また、トンボの里や万灯山エリアでは、メタリックグリーンの**アサヒナカワトンボ**に出逢うことがあります。



こんな春本番のいきものたちを探して、里を散策しませんか。

## 4月の行事予定

2日(日)	親子でタケノコ掘りを体験しようⅠ ※注1	30名	AM9:30~11:30	当園職員
9日(日)	親子でタケノコ掘りを体験しようⅡ ※注1	30名		



内容 ~ 里の竹林整備などの一環として、実際にバチ鍬(くわ)を使ってタケノコ掘りを体験します。

「※注1」 この講座は3月12日から受付し、すでに定員に達しました。

16日(日)	万灯山へ春の花を探しに行こう	20名	AM9:30~15:00	高須桂子
--------	----------------	-----	--------------	------

内容 ~ 万灯山へ、春の生き物を観察しながらウォーキングします。

山頂では、別名「妖精の足跡」とも呼ばれるフデリンドウの花を  
楽しみながらお弁当を食べます。



## 5月の行事予定

7日(日)	野鳥のさえずりを聞いてみよう	20名	9:30~11:30	高田俊洋
-------	----------------	-----	------------	------

内容 ~ 春の里山で野鳥を観察します。

南から渡ってきた夏の小鳥のさえずりをみなさんで聞いてみましょう。  
美しい姿も観察できるかもしれません。



21日(日)	棚田でお米を作ろうⅠ(田植え) ※注2【予備日:5/28】	60名	9:30~11:30	当園職員
--------	----------------------------------	-----	------------	------

内容 ~ 里山から流れ出る冷たい水を棚田に引き込み、稲の苗を手で植えます。

「自分たちが食べるお米が、どうやってできるのか、親子で体験！」  
ぬかるんで歩きにくい棚田での作業は、苦勞の多い作業ですが  
「きっと、おいしいお米ができます！」

「※注2」 棚田でお米を作ろうⅠ~Ⅲの講座は原則3回の講座のため、  
少なくとも2回以上受講した方に限り、参加特典として  
「お米」をプレゼントします。



- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下**の場合は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止**のため、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください

## 西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課